



# 沖縄県警察学校の学生さん達へ講話 〜知的障がいのある方への対応等について〜



1月23日(月)、沖縄県警察学校にて、障がい者理解および障害者制度など65名の生徒の皆さんに80分間、講師として授業を行って来ました。当学校では警察官の職務を行うために、一般教養や法学、体力づくりや精神力の錬成、職務執行上の基礎知識や技能の習得など警察実務などを学んでいます。

障がいのある方への対応等について、皆さんは卒業後現場に派遣されます。コミュニケーションや判断力に問題のある発達障がいや知的障がいのある人が、事件に巻き込まれることが無いように、その特性や行動を警察官にはぜひ理解していただきたいと思います。

昨年8月に続き、1月18日にJICA(独立行政法人国際協力機構)の研修「地域に根差したインクルーシブアプローチ」による障がい者の社会参加と生計」の講師として、コロンビア、パナマ、パラグアイからの研修員に、沖縄における障がい者支援や家族の係わりについてお話をしました。

JICAは技術協力などの援助手法を一元的に担う、総合的な政府開発援助(ODA)の実施機関で、開発途上国への国際協力を行っています。研修員は、それぞれの国の行政関係者が中心とみられ、長期間に亘って日本や沖縄県の福祉制度に關連した障がい者の環境や情報等を調査し、自国で有効活用するシステムとなつていきます。世界にはまだ経済発展途上の国が多数あるために、この試みの意義は大変大きいのです。

ダウン症の娘が誕生した41年前、生後3か月検診の折に田舎の小さな医院の高齢な医者から「この子はダウン症だから、3年位しか生きられない」と告げられました。当時、異業種にいた私は福祉はおろか障がいのことなど時代のために情報収集も思うに任

せず、専門家である医師の言葉は重く、疑うべくもありませんでした。その後、多くの病院を巡り、ダウン症であつても心疾患や内臓疾患など他の病に重複することさえなければ、元気で老後を迎える事もできるとわかり胸をなでおろしましたが、その時に受けた不安や絶望感を未だに忘れることが出来ません。

障がいのある我が子の育児や学齢期、さらには老後に至るまでの生活に対する不安は、家族なら誰しも思い悩み苦しむはずで、そこに実例を交えた適切なアドバイスや情報があれば、どれほど心が癒されるか計り知れません。現在では全国20万会員を有する私たち保護者を中心とした全国手をつなぐ育成会ですが、その発起人は我が子の社会生活への対応に不安を感じた3名の母親たちでした。悩み苦しんできた辛い生活体験を、あとから続いてくる若い親たちに同じ思いを与えないために、家族の係わりや支援の在り方、さらには政策や制度への対応等の情報を伝達する役目は、私たち先人にはあります。「20歳、いや40歳で短命だ」と言われてきたダウン症の人達ですが、「何歳まで?」と言う寿命にはこだわらずに、元気で健やかに、そして私達家族にとつてかけがえのない存在として社会生活を送っている姿を、私達は誇りとして後輩たちに伝えていきたいと思つています。

琉球新報への寄稿 1月28日掲載  
沖縄県手をつなぐ育成会理事長 田中寛

## 手をつなぐ・うちな

知的な障がいのある人と共に

県育成会のHPにも掲載中

発行所  
沖縄県手をつなぐ育成会  
那覇市首里石嶺町4-373-1  
沖縄県総合福祉センター内  
TEL 098 - 882 -5727  
FAX 098 - 882 -5720  
E-mail: oki-iku@woody.ocn.ne.jp  
HP: http://www.oki-iku.com/  
発行人 理事長 田中寛  
定価 50円(会費を含む)

【目次】

P1	琉球新報寄稿・警察学校での講話
P2	沖縄県事業所協議会交流会
P3	本人意見文・理事通信
P4	理事長予定・ゆんたく広場他







# 平成28年度沖縄県事業所協議会 事業所交流会



とっても広い会場でした♪



沖縄県事業所協議会  
田中会長のあいさつ



12月16日(金)、沖縄市民体育館にて、沖縄県事業所協議会主催で事業所交流会が開催されました。当日は、例年通りの正装姿で16事業所の358名が参加していただき、約二時間思い思いのダンスで楽しんでくれました。参加してくれた事業所の利用者の皆さんは、一年間この日を待ち望んでいたかのように、バスケットコートが3面とれる県内一の大きさの体育館が狭く感じるほど、明るく大きな笑い声と笑顔あふれる交流会でした。少し早目のサンタからのプレゼントを受け取る時に見せてくれた最高の笑顔は、あたかも次年度の開催を催促するようにさえ感じました



今日はおめかししたよ☆

♪ダンスきまつてる?♪



みんなで輪になろうよ♪

マイクで話すの楽しい〜☆







# わたしのこと 私の声を届けます



## ーてだこ工房に入所してー



てだこ工房  
宮城 さつき

はじめまして。私の名前は宮城さつきです。

お母さんと二人で住んでいます。

趣味はウォーキングです。

てだこ工房ではヨガもやっています。

てだこ工房にはいつて2年になります。

仕事はEM洗剤の製造作業や

お菓子作りをしています。

好きな作業はビーズ作りと

浦添市役所でのロビー販売です。

目標はパソコンが上手になる事です。

夢は、みんなで東京デイズニールランドに

行く事です。



## 国外の研究員向け 講習会(2回目)

1月18日(水)沖縄県国際交流センターにて、「2016年度地域に根差したインクルーシブアプローチによる障がい者の社会参加と生計」をテーマとした講習会が開催され、昨年8月に続き再び講師としてお招き頂きました。  
今回はコロンビア、パナマ、パラグアイの3か国より8名の方が参加され、日本の障がい者制度や全国・沖縄県手をつなぐ育成会の設立趣旨や政策提言など、保護者を中心とした組織の活動内容などを講話しました。



## 理事通信

### ー地元、育成会の問題についてー



理事 百名 聡

西年も1カ月が過ぎました。今年もいろんな事にチャレンジしたいと思っています。

去年は南部地区手をつなぐ育成会の5市町の事務局として活動し、忙しい日々を送っていました。また、福祉会の協力のもと、去年の12月18日には南城市手をつなぐ育成会の10周年記念式典が行われました。

式典には南城市副市長はじめ(その他13名の来賓の皆様)4名様から来賓祝辞を頂きました。励ましの言葉、応援する言葉、感謝の言葉を頂き、育成会会員の皆様、保護者、役員の方も感動し、心強く感じました。

「障がい者が住み慣れた地域で共に暮らし、共に参加する障がい者にやさしい町づくり」を目標とする南城市障がい者計画に近づけるよう、会員の皆様、保護者と協力し、日々の生活に力を入れて行きたいと思いをしました。

沖縄県手をつなぐ育成会の田中理事長の話しにもありました「高齢化問題」ですが、南城市育成会各支部も設立から20年以上が過ぎ、会員本人、保護者が高齢化し、育成会活動にも影響が出ています。また、他の支部では新規加入もありません。また、他の

この課題をどう解決するか、保護者、役員で話し合いの時間をかけて、考え、行動して行きたいと思っています。



理事長行事報告 1月

- ★1月4日(水) 県総合福祉センター 県総合福祉センター新春懇談会
- ★1月11日(水) 東京都 全国育成会連合会政策委員会
- ★1月13日(金) 沖縄市 中部地区本部会
- ★1月18日(水) 浦添市 JICA研究会講師
- ★1月23日(月) 警察学校 警察学校講習会講師
- ★1月26日(木) 口腔保健医療センター 歯科SUN会議

理事長行事予定 2月・3月

- ★県外
  - ★2月3日(金) 長崎県 第3回九育連役員会議
  - ★2月10日(金) 11日(土) 東京都 東京都育成会 虐待防止研修会
  - ★2月15日(水) 東京都 全国育成会連合会フロッック長会議
  - ★2月22日(水) 東京都 全国育成会連合会運営委員会
  - ★2月25日(土) 東京都 全国育成会キヤラバン隊研修
  - ★3月2日(木) 東京都 全国育成会連合会育成会フォーラム
  - ★3月3日(金) 東京都 全国育成会連合会事務局長会議
  - ★3月3日(金) 東京都 行政説明会
  - ★3月28日(火) 東京都 全国育成会連合会役員会
- ★県内
  - ★2月7日(火) 那覇市 全国スポーツいわて大会報告会
  - ★2月15日(水) 那覇市 県障害者自立支援協議会

『手をつなぐ・うちな』編集者  
 理事長：田中寛  
 事務局：高原奈々・赤嶺優香

- ★2月18日(土) うるま市 うるま市育成会研修会
- ★2月20日(月) 那覇市 県障害者虐待防止・権利擁護研修
- ★3月10日(金) 口腔保健医療センター 歯科SUN会議小委員会

田中理事長のゆんたく広場

昨年、偶然見たテレビの特番で懐かしい顔を見ました。白いひげづらで年老いてはいましたが、当時と変わらぬ怒鳴り声で相手を威圧するその形相は、まぎれもなく45年前、私が高校1年時の担任だった清原伸彦先生そのものでした。全員の意思が統一されていて、一糸乱れぬ動作が注目を集めている日本体育大学の集団行動というマゲームの先駆者と言われている先生が19日に浦添市で講演を行うとのことで面会に行き、45年ぶりの再会を懐かしみ、当時のことを語り合いました。再会の約束は、互いが元気であれば叶う事でしょうね。

『手をつなぐ』購読募集

機関誌「手をつなぐ」は、中央情勢・各地育成会の活動、また特集コーナーで、教育・福祉・就労・医療等の最新の情報がわかりやすく掲載されています。

お申込みご希望の方は、  
 県育成会まで一度ご連絡下さい。  
 \*年間購読料 3,800円



28年度賛助会員

敬称略

個人	富村	智	富村	圭代
富村	海裕	富村	海梨	
富村	智育	富村	惠美理	
新垣	司	新垣	富規子	



28年度賛助会員 加入のお願い

★賛助会員の趣旨 ★  
 沖縄県手をつなぐ育成会は、知的に障がいのある子を持つ親等を中心に結成され、「知的障がい者(旧)の心豊かな暮らし」、「社会が障がいの有無に係わらず相互に人格と個性を尊重し合う共生社会」の現実を目標に活動をしています。その目標の下、知的に障がいのある人の自立と社会参加を推進するため、育成会文化祭り、沖縄県ゆあいスポーツ大会、研修会、本人活動支援事業等多く事業に取り組んでおります。

当会の趣旨にご賛同いただき、活動の資金的なご支援をお願い申し上げます。

★賛助会員 個人：10 千円  
 ☆特別会員 企業・団体：10 5千円  
 連絡先：沖縄県手をつなぐ育成会  
 TEL 098(882)5727



沖縄県手をつなぐ育成会では専用ホームページを開設しております。最新の情報や、活動報告、広報誌のカラー紙面もご覧頂けます。是非アクセスしてみてくださいね!!  
 育成会HP：  
[www.oki-iku.com](http://www.oki-iku.com)

運営資金調達事業 ドリンク販売

平成25年度より新しく開始した運営資金調達事業の一つ「伊藤園ドリンク販売」ですが、ご好評頂き既に多くの申し込みを頂いております。5種類の美味しいドリンクの販売を通して、知的に障がいのある人たちのための活動資金作りと、広く一般の人々の知的障がいのある方への理解を深めてもらうことを目的としております。

価格もお求めやすくなっておりますので、是非この機会にお試し下さい☆☆



全5種類 各24個入  
 1,980円  
 お問い合わせ☆☆沖縄県手をつなぐ育成会  
 TEL: 098-882-5727  
 FAX: 098-882-5720